

## 子育て支援推進部会の点検・評価の結果について

### 1 部会開催状況

子育て支援推進部会は、7月25日(月)に予定していた会議が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったことから、7月28日(木)～8月5日(金)の期間に書面開催を実施し、第二期宮崎市子ども・子育て支援プランの地域子ども・子育て支援事業の令和3年度取組状況について点検・評価を行いました。

なお、書面開催となったことから、令和3年度の実績に係る資料に加え、事務局の用意した説明動画、委員の質問に対するメール、FAXでの回答を参考に点検・評価を行いました。

### 2 点検・評価の結果

資料4において、各事業の実施状況に対する委員の点検・評価の結果と意見を集約しています。全体の評価結果は以下のとおりです。(各委員の意見については、資料5をご覧ください。)

なお、全体の評価については、各委員の評価結果を基に、以下の判定基準で行いました。

#### <評価結果>

事業名	評価結果
1 利用者支援事業	どちらかといえば順調である
2 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）	順調である
3 妊婦健康診査事業	どちらかといえば順調である
4 乳幼児全戸訪問事業	どちらかといえば順調である
5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	どちらかといえば順調である
6 子育て短期支援事業（ショートステイ）	どちらかといえば順調である
7 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）	どちらかといえば順調である
8-(1) 一時預かり事業（幼稚園）	どちらかといえば順調である
8-(2) 一時預かり事業（その他）	どちらかといえば順調である
9 延長保育事業	どちらかといえば順調である
10 病児保育事業	どちらかといえば順調である
11 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	どちらかといえば順調である
12 実費徴収に係る補足給付を行う事業	どちらかといえば順調である

#### <評価の判定基準>

順調である=A、どちらかといえば順調である=B、あまり順調でない=C、  
順調でない=D、評価保留=E

- ①委員の過半数がAと評価した施策は、「順調である」と評価
- ②     "     Bと評価した施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ③     "     Cと評価した施策は、「あまり順調でない」と評価
- ④     "     Dと評価した施策は、「順調でない」と評価
- ⑤     "     Eと評価した施策は、「評価保留」と評価
- ⑥委員の評価が、A評価、B評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「どちらかといえば順調である」と評価
- ⑦委員の評価が、C評価、D評価それぞれでは過半数とならず、合計して過半数となった施策は、「あまり順調でない」と評価
- ⑧委員の評価が、A～Eに分かれ、上記①～⑦のいずれにも該当しない事業は、「※（評価が分かれた）」と記述

### 3 部会長総括

点検・評価の結果、全ての事業について、「順調である」または「おおむね順調である」と評価しました。

ただし、「5 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業」については、3名の委員から「あまり順調でない」との評価を受けています。

意見としては、「実績が2世帯だが、産後すぐに一時保護になったり、県外に転出したりしたケース等が複数見受けられたことだけが要因なのかが分からない。」や「コロナ禍ではあるが、養育支援訪問事業の訪問支援者の研修を中止にする以外の方法はなかったのか。訪問支援者の資質向上は絶対に必要なことで、今後に向けても知恵を出していただきたい。」といったものがありました。引き続き、訪問の対象世帯の把握、訪問支援者の資質向上に努めてください。

また、「子育て短期支援事業（ショートステイ）」および「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」については、2名の委員から「あまり順調でない」との評価を受けています。

「子育て短期支援事業（ショートステイ）」については、2歳未満の受け入れが可能な施設が限られており、ニーズに応えられないという課題もあることから、新たに対応可能な施設や里親への委託について、ご検討をお願いします。

「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」については、事業量の見込みに対して、確保方策が足りていない状況が続いていますが、要因としては、保護者の就労要件の一部緩和を行ったことにより、利用についての申請が増えたことによるものということでした。

施設の整備が追いつかないところもあるかもしれませんが、引き続き、事業量の見込みに対する確保方策が達成できるよう努めてください。

なお、児童クラブ内の職員の配置数や資質に対する意見もありました。配置数については法律等で定められている部分もあるかと思いますが、資質向上については、研修等で工夫できる部分もあるかと思しますので、ご検討をお願いします。

最後に、コロナの影響を受け、実績が大きく減少している事業については、本当に支援を必要としている方が、支援を受けられない状況になっていないか確認をしていただき、コロナ禍に合わせた柔軟な対応をお願いします。